

大夫合議制の展開と冠位十二階

— 十七条憲法の衆議の思想・新羅合議制「和白」 —

日 時： 2017年7月19日(水) 16:30～18:00

場 所： 文学系S棟 128 教室

報告者： 鈴木 明子 (古代学術研究センター協力研究員)

大化前代には、大夫という政治的地位が存在し、大臣・大連とともに合議体を形成していた。

一方、朝鮮三国では六世紀初めまでに官位制が制定された。倭国では、六世紀に朝鮮三国と密接な外交を行い、六世紀前半に大夫合議制（朝鮮三国の合議制との共通点が指摘される）も創設しながら、なぜ官位制の創設はなされないのか。倭国において、七世紀初頭に冠位制を創設することの意味とはなにか。冠位制の制定によって、大夫合議制はいかなる変容を遂げたのか。

また、六世紀半ばの仏教公伝から、本格的な導入まで開きがあるのはなぜか。なぜ冠位制制定と仏教導入はともに遅れ、また時期を同じくするのか、について考える。

事前申込は不要です。ご自由にご参加ください。

問合せ先：奈良女子大学古代学学術研究センター
〒630-8506 奈良市北魚屋東町
奈良女子大学コラボレーションセンター205号室
Phone&Fax. 0742-20-3779